

平成29年度

日本医師会 女性医師支援センター事業

近畿ブロック会議(平成29年10月14日) 報告

大阪府医師会 理事 笠原 幹司

● 兵庫県医師会の取り組み

・兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

(委員) 兵庫県女性医師の会役員・13名、
兵庫県医師会担当副会長・1名、理事・3名

・兵庫県女性医師の会(会員・約400名)

平成18年に結成、県内全医師対象、医師会非入会会員も可
男性医師の入会推奨

・平成29年度 事業計画

女性医師再就業支援(県委託事業)、病院訪問(研修医・勤務医との懇談)
研修医・勤務医のベビーシッター費用の一部負担、女性医師支援相談窓口、
女性医師の会フォーラム・研修会開催、ニュースレター発行(年2回) 他

施設長・勤務医へのアンケート調査

目的:施設長および勤務医の意識調査・環境調査

実施年:平成23年、26年、**29年**

アンケート送付先:県下の大学病院、公立病院、私立病院

平成23年(313病院)、26年(352病院)、**29年(354病院)**

* 勤務医師へのアンケートは病床数により配布数を決定

平成23年(5,645部)、26年(6,190部)、**29年(6,330部)**

勤務医の概要(回答者):男性 54.3%、女性 45.2%、兵庫県医師会員 54.8%

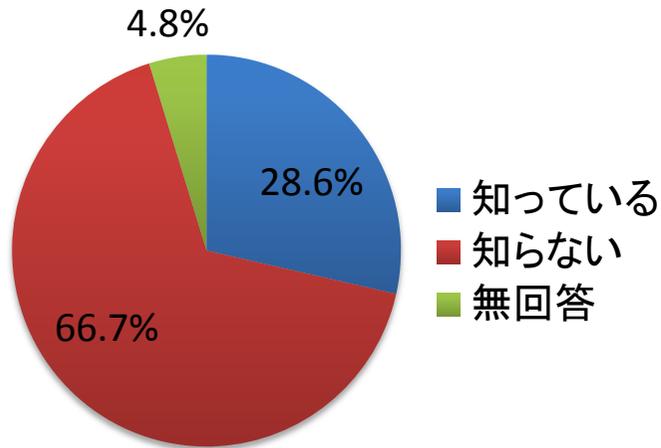
保育施設の整備状況、病児保育の整備状況、短時間正職員制度

勤務中の保育、勤務中の病児保育 等

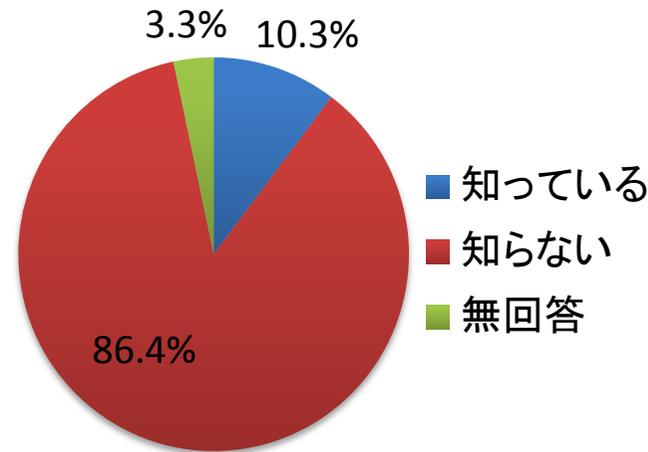
施設長・勤務医へのアンケート調査

・医師会の女性医師支援の認知度

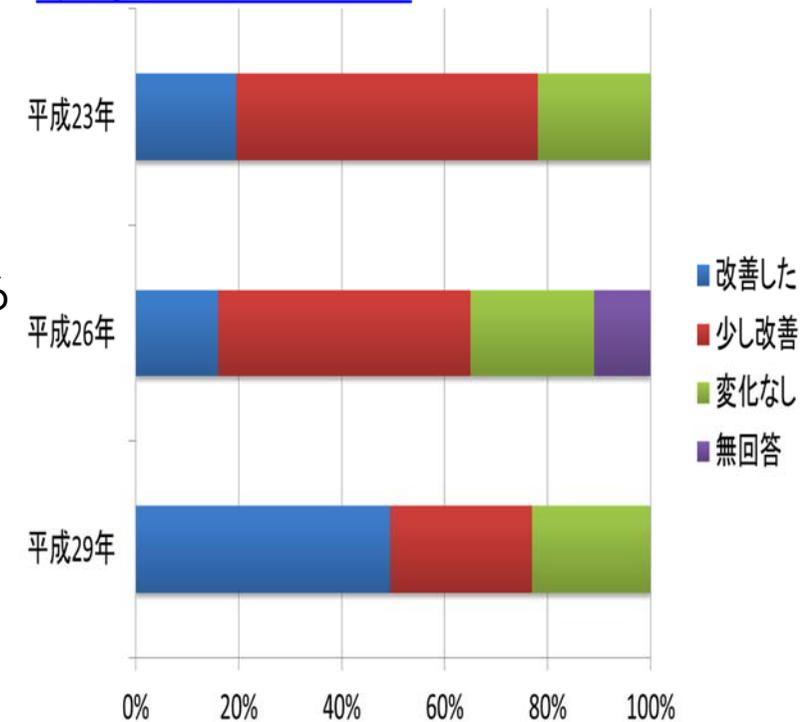
女性医師再就業支援
センター



ベビーシッター費用
一部負担制度



・女性医師の職場環境は改善したか？



・兵庫県医師会への要望

- ・女性ばかりでなく男性の働き方の改革が必要
- ・さまざまな支援制度の情報伝達
- ・勤務環境の改善、制度の充実

(近畿ブロック会議資料より)

● 滋賀県医師会の取り組み

・ 女性医師懇談会・7月29日開催

テーマ「尿失禁と骨盤臓器下垂」(講師・産婦人科医師)

・ 滋賀医科大学3年生に対する講義・10月19日開催

特別講義「医師のワーク・ライフ・バランスについて考える

～キャリアをどのように積み重ねるか、

人生設計を今から考える」

(講師・医師のワーク・ライフ・バランスを考える会)

・医学生・研修医サポート事業

「医学生・研修医等をサポートするための会」開催

医学生・研修医等をサポートするための会

これが私の進む道

男女問わずご参加ください!

先輩医師のプロフィールに学ぶ

とき 平成29年 **10/29日** 10:00~12:00

ところ 滋賀医科大学 基礎講義実習棟 A講義室

主催：滋賀県医師会 共催：日本医師会、滋賀医科大学

時間	内容	講師
10:00~10:05	開会	滋賀県医師会 理事 木築 野百合 (100名)
10:05~10:20	報告 医師会とその役割	滋賀県医師会 理事 木村 隆 (15名)
10:20~11:20	シンポジウム	医師会 滋賀県立病院 小児科 主任部長 西島 節子 (10名)
11:20~12:00	質疑応答と問題提起	
12:00	閉会	

これが私の進む道

～先輩医師のプロフィールに学ぶ～

- ・報告「医師会とその役割」
- ・シンポジウム(講師・卒業生)

平成29年10月29日(日)

滋賀医科大学にて

・育児支援事業

滋賀県医師会ホームページに「女性医師支援コーナー」を設けて、
保育サポート情報を提供

・滋賀県女性医師交流会・11月18日開催

滋賀県女性医師ネットワーク会議

(滋賀医科大学、滋賀県病院協会、滋賀県医師会)

「女性も男性も楽しく働く！！～キャリアアップも子育ても充実」

・勤務医研修会の実施・年2回開催

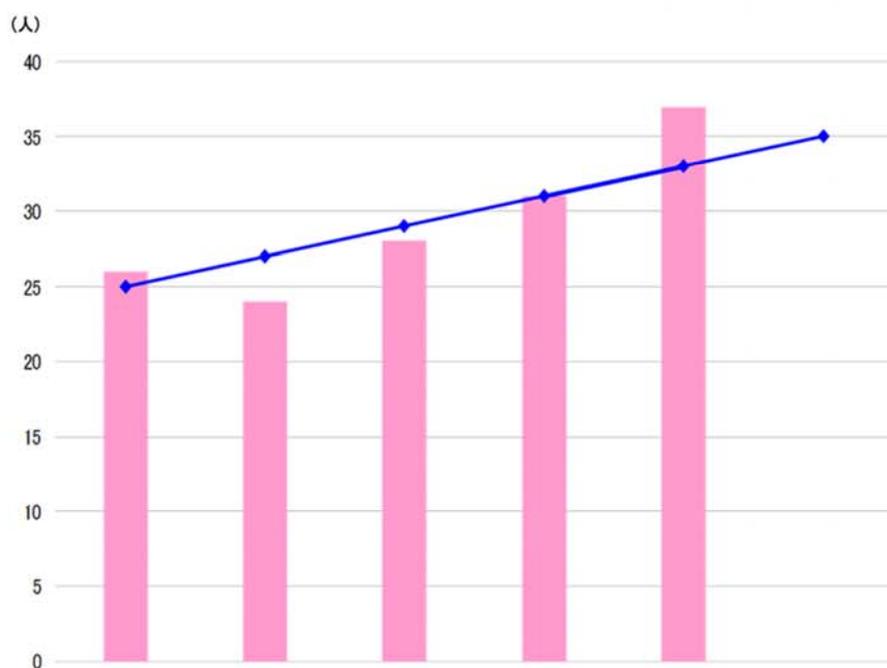
・リーダーシップ研修会(9月9日)「地域医療構想においたマーケティング」

・マネジメント研修会(平成30年2月3日)「財務研修、法務研修」

● 奈良県医師会の取り組み

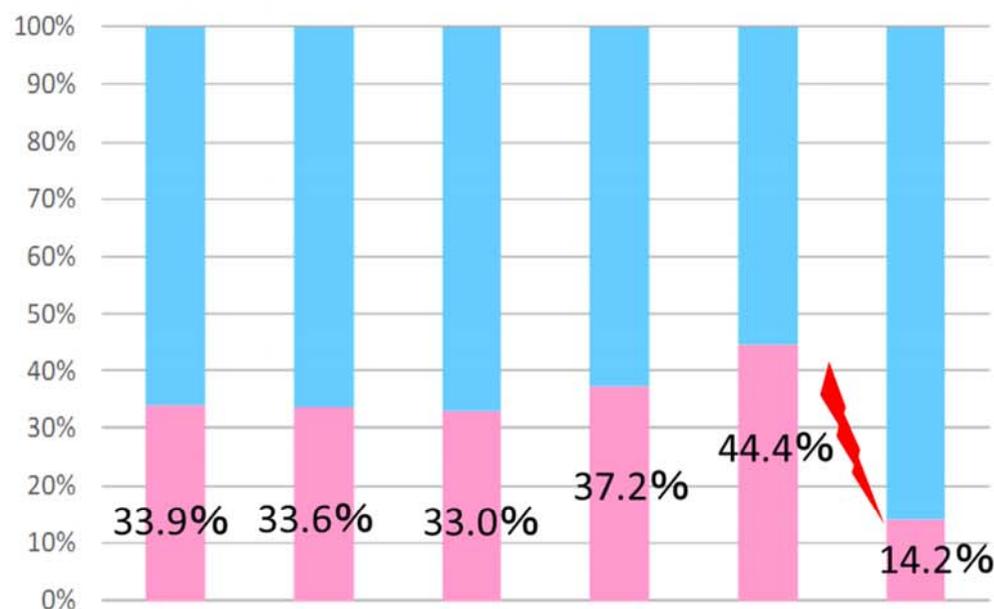
～ 奈良県立医科大学が取り組む女性医師支援～

奈良県立医科大学臨床系女性教員数の推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実績(人)	26	24	28	31	37	
中期目標(人)	25	27	29	31	33	35

奈良県立医科大学勤務の職位別の女性割合 (H29.5.1時点)



	臨床 研修医	後期 研修医	医員	病院 助教	診療 助教	臨床系 教員
男 (人)	72	87	75	54	20	223
女 (人)	37	44	37	32	16	37
全体 (人)	109	131	112	86	36	260

(近畿ブロック会議資料より)

・医師のワーク・ライフ・バランスを確保するための取り組み
(ワークライフバランス検討委員会設置)

1) 年次有給休暇(1時間単位で取得可能)

2) 夏期休暇(半日単位で取得可能)

3) その他の特別休暇

- ・産前産後休暇、
- ・育児休業、
- ・短時間勤務制度や部分休業制度・・・外勤と併用可能

“母子の健康問題、自己都合以外での妊娠・出産を契機とする
女性医師の退職ゼロに取り組み達成”

女性研究者支援センターが中心となり実施している女性医師支援

女性医師支援に関する情報提供

女性医師・女性研究者・医学部女子学生の交流会(En 女医(joy) Café)開催

相談業務

医学生や研修医を対象としたキャリア教育やロールモデルの提示

妊娠・出産・育児や介護を担う女性医師に対する研究補助目的での研究支援員配置

女性研究者学術研究奨励賞

女性医師を対象とした文部科学省科学研究費申請推進事業

- 男女学生に対する卒前卒後のキャリア教育
- 全医師の就労環境整備
- 各医師への就労・研究に関する制度周知と情報提供
- 女性医師に特化した研究支援

● 和歌山県医師会の取り組み

和歌山県医師会

女性医師メンター制度 案内

県の委託事業として、女性医師メンター制度が、平成27年度より開始されました。

「メンター制度」とは、「経験豊富な先輩がメンター」であり「後輩がメンティー」です。メンターとメンティーが双方向の対話を通じて、メンティーのキャリア形成上の課題解決や悩みの解消を援助して、個人の成長をサポートする制度です。

県内6施設計7名の医師を、女性医師メンター（助言者）として委託しています。院内（院外も対応可）の相談相手として、まずは先輩格のメンターの先生にメールで相談してみてください。どのメンターの先生に連絡するのかが分からない場合はまず県医師会（榎本）へメールで御相談下さい。

平成27年度メンター医師（アイウエオ順）

・日本赤十字社和歌山医療センター	井上美保子医師	mihoney23@hotmail.com
・和歌山県医師会理事	榎本多津子医師	rypty510@energy.ocn.ne.jp
・国立南和歌山医療センター	木下真樹子医師	nono87makimaki@yahoo.co.jp
・和歌山県立医科大学附属病院	島 友子医師	yukotk@wakayama-med.ac.jp
・和歌山労災病院	辰田 仁美医師	htm310tatsuta@yahoo.co.jp
・紀南病院	早田 幸子医師	ukkie@kinan-hp.tanabe.wakayama.jp
・和歌山県立医科大学附属病院	南 佐和子医師	sawako@wakayama-med.ac.jp

※すぐにお答えできない場合もありますが、できる限り対応させていただきます。
※時間的制約の中での対応となる場合もあります。
※個人情報情報は守秘と致します。

(相談内容の例)

本制度そのものについてのお問い合わせ等は
和歌山県医師会 担当 清水
TEL 073-424-5101 FAX 073-436-0530

・ 女性医師メンター制度

平成27年度から県の委託事業
平成29年4月より医師会独自事業
県内6施設・計7名の医師を
女性医師メンター（助言者）に委託

● 相談件数

(H27.10月～H29.6月)

134件

育児・介護関連

49件

勤務環境・待遇・設備関連

23件

他

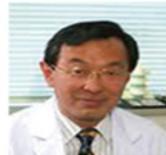
(近畿ブロック会議資料より)

「研修医レター」発行



研修医の皆様方へ

和歌山県立医科大学附属病院病院長 吉田 宗人 先生



皆さんは学生の時「卒業したらどの分野を専門にしようか」「どのような病院で臨床研修を受けようか」と考えていたのではないのでしょうか。卒業後は臨床研修医としてトレーニングを受けることとなります。自分よりずっと年長の人から「先生」と呼ばれることも多くなり、また患者さんやそのご家族の人生に関わることも数多くあるでしょう。いま皆さんは難関の医師国家試験を突破し、医師免許を手に入れた訳ですが、本当の意味で「医師」になるのはこれからです。臨床研修は医師としての基本を身につける「自己研鑽」の期間であると同時に、皆さんが初めて社会で「仕事」をする機会でもあります。当和歌山県立医科大学附属病院の研修では、県内外の各基幹病院で数多くの症例を実践的に経験することができます。様々な分野を広く経験できるジェネラル志向の研修が、もしくは専門分野に特化した研修を進めていくのかなど、多くの症例経験を経て、自身の進む道が見えてくるかも知れません。

昨今、超高齢化社会や情報化社会への流れに伴い、医療機関や医師に求められることも多様化しています。臨床研修が始まれば、自分たちに求められている役割をその場で判断し、臨機応変な対応が求められる場面も多々あると思います。皆さんがそういった経験を積み重ね、自分の新たな可能性を切り開き、本当の意味で「良い医師」へと成長されることを願っております。

先輩女性医師による「ワークライフバランス」

和歌山つくし医療・福祉センター 井上 美保子 先生

私は医師になって16年目の小児科医です。医師5年目のときに結婚し、小学4年の息子と小学3年の娘の母親です。これまであまりポリシーをもちださずに働いてきましたが、好奇心が強く、なんでも前をつつこんでしまう性格がひびいてきていたように思います。たくさんの方との出会いから重症心身障害や発達障害を専門にしたいと考えようになり、2016年から今の施設で働いています。この分野は医療の考えだけでは方針が決まらないことが多く、患者さんやその家族、そしてそれを取り巻く医療、福祉、行政、教育など多くの人たちとアイデアを出し合って、患者さんの生活に密着した計画を立てていくことが魅力であると感じています。医師という立場を超えて人間の生活の質という枠組みでの考え方が大切で、そこに医療の専門知識、自分が誰かの子どもであり親であるという経験、趣味や雑学の体験などが生きてくると、私は考えています。

なんでも自分ではないと気がすまない性格のためか、仕事も家庭も全力疾走してしまいがちですが、辛いにもこれまで家族や職場のサポートに恵まれた環境でした。家庭の安定を保つように仕事を早く片付け、余裕をもって仕事ができるように家庭の問題をひきずらないように気をつけています。それでも実際は周りに気を使い、うまくいかないストレスも感じますし、周りに文句も出ますので、なんとか切り抜けているという日々です。和歌山県医師会主催の女性医師フォーラムでの講演で、「ワークライフバランスを保つためには、常に選択をしなければいけない」という話になるほどと思いました。仕事をしながら自分の生活を保つということは、いつも目の前に複数の選択肢があり、優先順位をつけて実行しているのだと思います。それは性別も職種も問わずみんな同じではないかと思えます。

ご縁があり和歌山県医師会の女性医師メンターをさせていただき、それ以外にも様々な年代の女医さんたちと働き方の話をする機会があります。そこでいつも感じることは、それぞれ環境もやりたいたいことも考えも全く違うということです。たくさん仕事をしたい人もいるし、家事や育児に専念したい人もいます。「女医＝ワークライフバランスが大事」という考え方に縛られず、その人が何を希望していてそれがどうしたら現実的に実現可能かという考えで進めていく必要があると思います。そのためには、当事者自身がどうしたいのか、どうなりたいたいかということをしっかり考え、周りに伝えていくことが大切だと思います。そして取り組んでいることを応援してくれる仲間がいることも重要な成功要因だと思います。

平成27年2月から年3回発行

研修医に配布

★先輩女性医師による「ワークライフバランス」など女性医師に関する記事を掲載

研修会等の案内

日本医師会女性医師バンクの案内

・和歌山県立医科大学ワークライフバランス講義

医学生をサポートするための会 平成28年10月25日開催

「医学生のためのキャリア入門

～自分の未来をデザインしよう～」

・女性医師支援講座 平成28年11月8日開催

(医学生・研修医等をサポートするための会)

「これからの進路を模索中の貴方へ

体験者の話もふまえて」

女性医師支援講座

当科では早く女性医師の活躍の実現に向けてこのように取り組んでいます
～これからの進路を模索中の貴方へ 体験者の話もふまえて～

平成28年度医学生・研修医等をサポートするための会

2016年
11/8(火)
17:15~18:30

場所：和歌山県立医科大学
基礎教育棟 3F 講義室 2

対象：医学生・研修医・すべての医師

講演	
産科科長	【医 師】川股 知之 [★]
	【助 産】重川 里香 [★]
婦科学科長	【医 師】榎野 司晴也 [★]
小児科学科長	【医 師】鈴木 啓之 [★]
	【医 師】島 友子 [★]
解剖学教科長	【医 師】重松 隆 [★]
	【研修医】岩谷 由佳 [★]
救急・集中治療医学科長	【医 師】友藤 正哉 [★]
	【医 師】木田 真紀 [★]
皮膚科教科長	【医 師】古川 福美 [★]
	【研修医】田中 美衣子 [★]
産科婦人科学科長	【医 師】井筒 一彦 [★]
	【研修医】小林 智子 [★]

主催：和歌山県医師会 共催：和歌山県立医科大学附属病院・日本医師会

開催日時：11月1日(日)まで2週間先着順
申込先：和歌山県医師会 (TEL) 073-424-6101 FAX: 2860

・地域における女性医師支援懇談会「わかJOY会」 8月11日開催

・第15回 女性医療フォーラム 10月21日開催

● 京都府医師会の取り組み

・ 医師のワークライフバランス(WLB)委員会

- ・ 医師のWLBについてともに考え、議論出来る場を企画、新たな試みでは若手医師のオブザーバー参加
- ・ 子育て支援事業「子育てサポートセンター(仮称)」を設置

「医学生・研修医をサポートする会」を

「医師のワークライフバランスを探求する！」と題して年に1回開催

第8回「医学生・研修医をサポートする会」

日時: 2018年3月3日(土)午後

場所: 京都ホテルオークラ

「医師の働き方改革」をテーマに討論

医師のワークライフバランスを探究する!

医師だって、仕事も生活も楽しみたい!
医師にとっての真のワークライフバランスについて考える講演会。

基調講演 (午後2時35分~3時35分)
馬岡晋
(三浦県医師会 常任理事)

女性が働きやすい医療機関認証制度について
~三重県の取り組み~

シンポジウム (午後3時40分~5時)

女性医師、男性医師がそれぞれの経験から、医師のワークライフバランスを実現するために必要な制度やサポートについて参加者とともに議論します。

開催日: 平成29年 3月4日(土) 午後2時30分~6時
場所: 京都府医師会館
参加費: 無料

懇親会 (午後6時~7時)
おいしいお食事を
ご利用しております!

託児ルーム開設
(託児料あり) 託児料お断りしております!

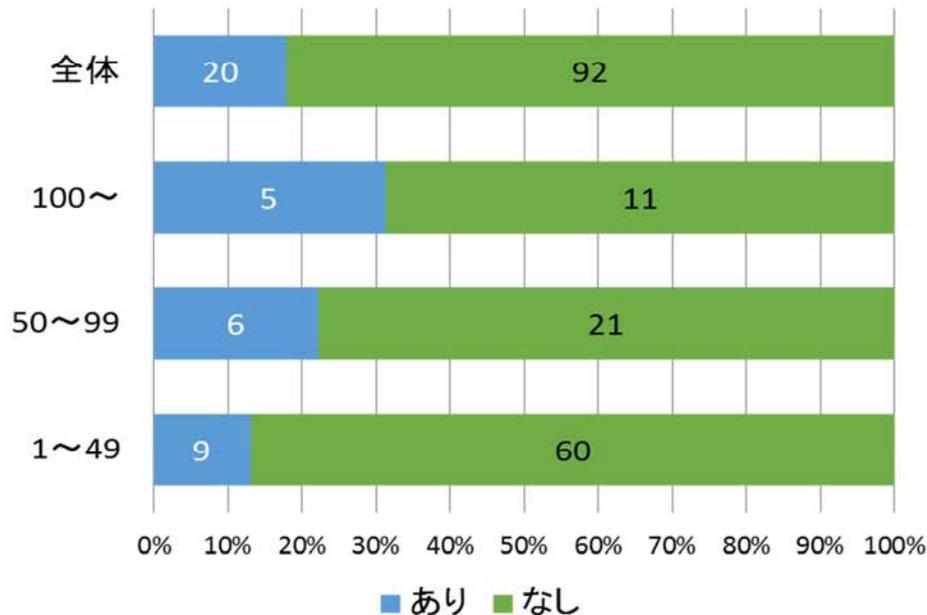
アドレス▶ gakujyutu@kyoto.med.or.jp

管理者の先生・男性医師のご参加もお待ちしております!

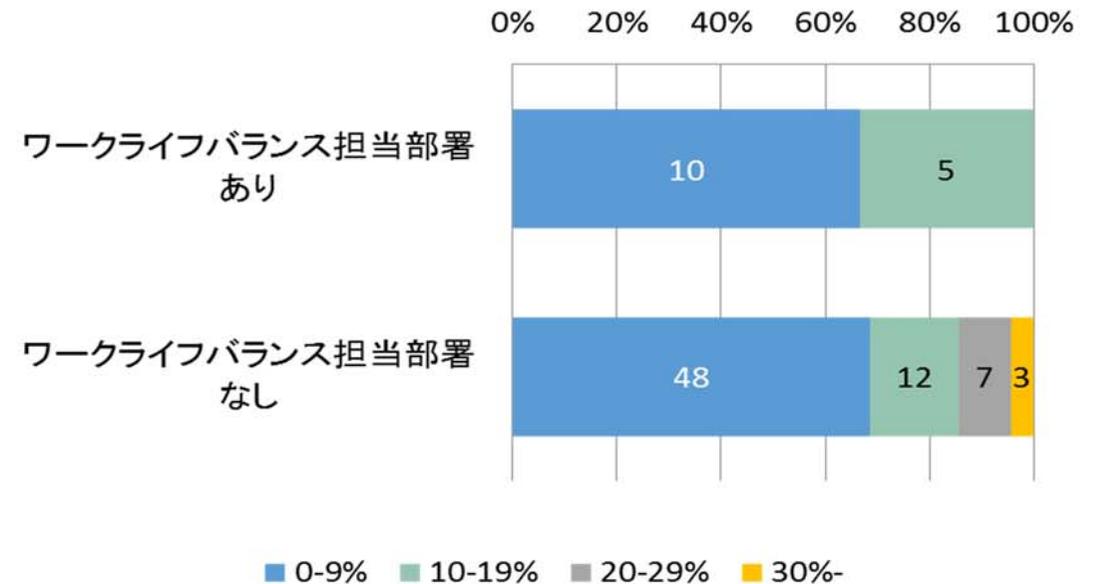
子育て支援等に関する取り組み状況調査①

2017年1月京都府内の169のすべての医療機関を対象に実施。
115の医療機関より回答を得た(回答率68%)。

医療機関の医師数別のワークライフ バランス担当部署の有無



ワークライフバランス担当部署の 有無別にみた女性管理職の割合

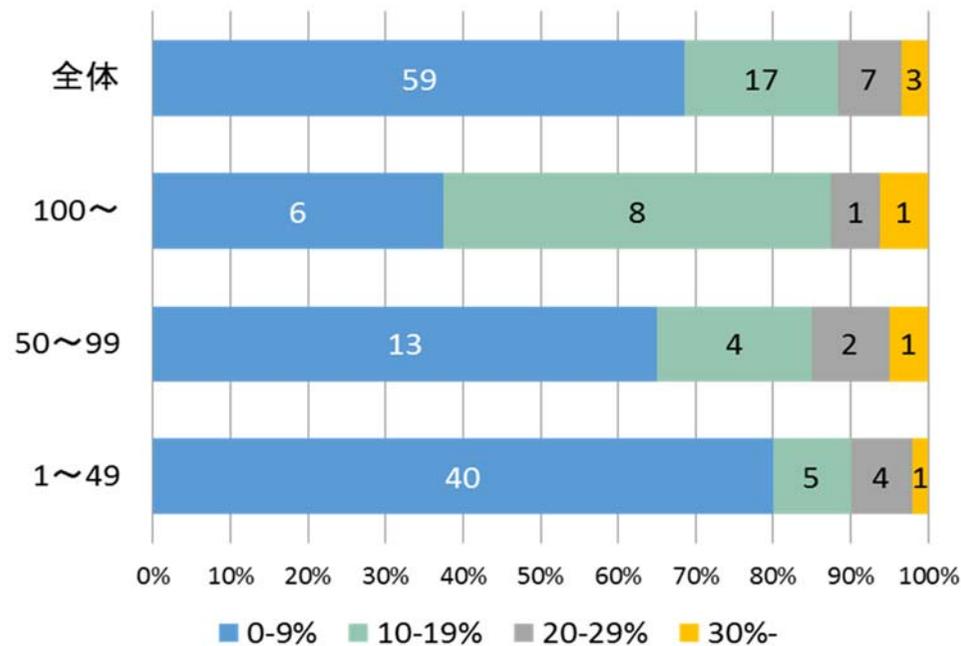


ワークライフバランス担当部署の設置率は、かなり低いのが現状。
しかし、その有無が女性管理職の比率上昇につながっている訳ではない。

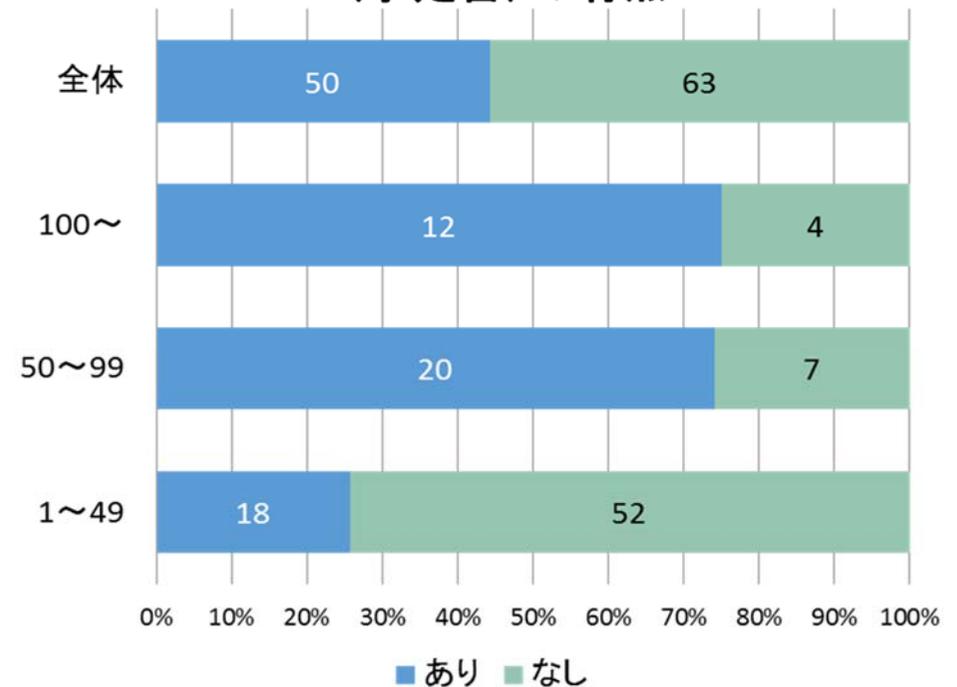
(近畿ブロック会議資料より)

子育て支援等に関する取り組み状況調査②

医療機関の医師数別にみた
女性管理職の割合



医療機関の医師数別の院内保育所設置
(予定含)の有無



女性管理職の割合が10%以上の医療機関は全体の3割程度に留まる。
一定規模以上の医療機関では院内保育所を設置しているところが70%以上と増加している。
ただし、院内病児保育所については、設置されていたのは26医療機関であった(22.6%)。

(近畿ブロック会議資料より)

●大阪府医師会の取り組み

院内保育所・託児施設の現況等に関するアンケート調査

(1)平成28年10月 実施

(2)調査対象 : 72施設
(府内基幹型臨床研修病院)

(3)回 答 : 71施設

(4)回答なし : 1施設

院内設備、実施している制度など	対応している施設数 (回答71)
院内保育 (隣接、専門業者を含む)	64(90%)
病児保育	35(49%) 病後児(3)含む場合:38(54%)
短時間勤務	66(93%)
残業免除	46(65%)
当直免除	54(76%)
短時間正職員	31(44%)
病児保育以外の対応 就労形態について	在宅保育サービス助成制度 育児休業制度 子の看護休暇制度 勤務日数を4日間とする(正職員) 外部医師による当直、救急日直制度

とりわけ女性医師の就労継続が
病院運営にとって、
いかに重要な戦力であるか、
勤務先の経営陣の意識改革が、
反映される！！

大阪府医師会 男女共同参画シンポジウム 「第3回 イクメン(育Men)医師を育てよう!!!」

- ・5月20日に開催
- ・講師は、子育て中の男性医師
(開業医、大学勤務医、病院勤務医)

「医学生、研修医等をサポートする
ための会」(平成29年2月9日、近畿大学医学部にて)

参加者: 120名(女性74名、男性46名)

テーマ「ワーク・ライフ・バランス」

- ・講演「医療安全とワーク・ライフ・バランス～縦糸と横糸の関係～」
- ・(発表)医学生と研修医による「女性医学生・研修医の悩みごと」



大阪府医師会 男女共同参画シンポジウム
**第3回イクメン(育Men)
医師を育てよう!!!**

日時:平成29年5月20日(土)14:00~16:00
場所:大阪府医師会館 7階71会議室
●参加・要申込み、裏面をご覧ください。

挨拶 笠原 幹司 大阪府医師会 理事

講演

座長 木野 稔 男女共同参画検討委員会 委員長

1. 仁科 昌久 豊中市医師会 理事
2. 北岡 太一 大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学 助教
3. 仲川 将志 大阪市立総合医療センター 循環器内科 医長

●パネルディスカッション

座長 福本 健治 男女共同参画検討委員会 副委員長
パネリスト 演者全員

●託児ルームをご用意いたします。
5月11日までにお申し込みください。

主催 大阪府医師会
問合せ・申込先 大阪府医師会 学術課 TEL:06-6763-2060、06-6763-7006
FAX:06-6763-2058
E-mail:gaku@po.osaka.med.or.jp

医療機関関係者の皆様、男性・女性どなたでもご参加ください。



参加
無料

ブロック女性医師支援WGによる活動 ～平成29年度～

・府内11ブロックを4地域に再編成し、
各WG主催で女性医師支援シンポジウム等を開催

1) 第1(豊能)・第2(三島)ブロック

女性医師支援のためのパネルディスカッション(11月4日)

「イクメン、イクボスへの道、指南します。」

・基調講演～医師の働き方改革に必要なものとは

2) 第3(北河内)・第4(中河内)・第5(南河内)ブロック

女性医師支援シンポジウム(12月16日)

「社会で育てる未来の子どもたち」

・基調講演～男女で考える医師のキャリアと働き方

3) 第6(堺)・第7(泉州)ブロック女性医師支援シンポジウム

(平成30年2月10日)

「こんな職場で働きたい！ 若手医師に求められる支援とは？」

・基調講演～初期臨床研修室長の役割 -活気に満ちた病院を目指して-

参加無料

平成29年度 第3(北河内)・第4(中河内)・第5(南河内)ブロック
大阪府医師会 女性医師支援シンポジウム

社会で育てる 未来の子どもたち

平成29年 **12月16日** (土) 15:00～17:00

大阪府医師会館 7階71会議室
大阪市天王寺区上本町2丁目1番22号
※最寄り駅:地下鉄市川駅 高麗橋見附徒歩「市川六丁目」駅

開会
西 嶋 攝 子 (第3・第4・第5ブロック女性医師支援WG委員長/大阪府女医会 会長)

挨拶
笠 原 幹 司 (大阪府医師会 理事)

講演
司会進行・座長
植 村 芳 子 (第3・第4・第5ブロック女性医師支援WG委員長代理/
関西医科大学総合医療センター 病理診断科診療教授・部長)
上 田 昌 美 (第3・第4・第5ブロック女性医師支援WG委員長代理/
近畿大学医学部リハビリテーション医学講師)

第一部 基調講演「男女で考える医師のキャリアと働き方」
鈴 鹿 有 子 (関西医科大学 学長特命教授・国際交流センター長)

第二部
講演「近鉄百貨店における子育て支援システム」
細 谷 詩 子 (株式会社近鉄百貨店 産業医)
講演「大塚製薬のダイバーシティの取組み」
田 中 静 江 (大塚製薬株式会社 人事部部長補佐兼ダイバーシティ推進プロジェクトリーダー)

● パネルディスカッション(演者全員、質疑応答含む)

閉会
西 嶋 攝 子 (第3・第4・第5ブロック女性医師支援WG委員長/大阪府女医会 会長)

◎ 日本医師会生涯教育制度(2単位)
【要申込】シンポジウム申込、託児ルーム申込(12月7日までに)
主 催 大阪府医師会 第3(北河内)・第4(中河内)・第5(南河内)ブロック女性医師支援ワーキンググループ
申 込 大阪府医師会 学術課(裏面の申込用紙をご利用ください)
問合せ先 TEL:06-6763-2060、7006 / FAX:06-6763-2058

医療施設関係者の皆様 男性・女性となくともご参加ください、
託児ルームご用意します。

ご清聴ありがとうございました。

